

「GIS Day in 四国 2011」開催要領

GIS（地理情報システム）は、今や様々な分野で使われており、特に防災対策にとっても必須の技術となっています。愛媛県においても、松山市、大洲市、新居浜市などの基盤地図情報が地理院から公開されるなど、多くの国土情報が整備されつつあり、活用しやすくなっています。

2011年3月には、東日本大震災が発生し東北地方では甚大な被害をうけました。また、同年9月には紀伊半島で、台風12号により戦後最大という土砂災害が発生しました。四国では東南海・南海地震の発生も危惧されています。そこで、今回はとくに自治体やコンサルなどの防災担当者や興味ある方がGIS技術が活用できることを目的に、下記の要領で『GIS Day in 四国 2011-防災のためのGIS実習-』と題して実践的なGIS実習を開催します。奮ってご参加ください。

【開催概要】

名 称：GIS Day in 四国 2011

テーマ：防災のためのGIS実習

日 時：2011年11月15日（火） 10:00～17:00

会 場：愛媛大学総合情報メディアセンター メディアホール、演習室

主 催：愛媛大学GIS研究会、愛媛大学防災情報研究センター

共 催：国土交通省国土地理院四国地方測量部、(社)地理情報システム学会

後 援：愛媛大学地域創成研究センター、(社)愛媛県測量設計業協会

協賛団体：ESRI ジャパン(株)、(株)古今書院

【プログラム】

セミナー（メディアホール）定員120名

10:00～10:10 開催挨拶 愛媛大学防災情報研究センター副センター長 板屋 英治

10:10～11:00 「防災のためのGIS入門」 愛媛大学GIS研究会代表 山岸 宏光

GIS実習（メディアセンター内 演習室）定員23名

11:10～12:00 GIS実習 1 講師 同上 山岸 宏光 ほか

12:00～13:00 昼休み

13:00～16:50 GIS実習 2 講師 愛媛大学GIS研究会事務局長

助教 バンダリネトラ ほか

16:50～17:00 閉会挨拶 国土地理院四国地方測量部次長

清水 乙彦